

＜ 芸術 ＞ 科 学習シラバス

科 目	音楽Ⅲ	学年・コース	3年生 スポーツ&カルチャー	単位数	2単位	教科書	Joy of Music (教育芸術社)
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、発展的な技能を身に付けるとともに、表現する楽しさを味わう。 ・楽譜についての知識を身に付け、読譜能力、記譜能力の向上を図る。 ・鑑賞の活動を通して、楽曲のよさや美しさを文章にして表現したり、批評する能力を身に付ける。 					
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度		
評価の内容	曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関りについて理解している。創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、表現意図をもったり、自ら味わって聴いたりしている。		曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関りに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ワークシート ・レポート 		
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点	
			A	B	C		
1 学 期	4	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう ○発声のためのエチュード ○星めぐりの歌 ○ロマンチストの豚	親しみやす歌唱曲の学習を通して、歌うことの楽しさを味わいながら1年間の音楽学習への意欲を養う。また昨年度学習した基本的な歌唱法の復習を行う。			○	○
	5	リズムの重なり合いや、音色の違いを感じ取ってアンサンブルを楽しもう ○ソルフェージュ ○Linear Liner ○Clap-Pat-Tap	これまで習得してきたボディーパーカッションに関する技能を高めたり応用したりしながら、自分の表現意図を器楽で表すことのできる技能を身に付ける。			○	○
	6	表現を工夫してリコーダーやギターを演奏しよう ○亡き王女のためのパヴァーヌ ○空飛ぶ宅急便	演奏したり、互いに聴き合ったり、意見を交換したりして音楽的な特徴を詳細に捉えながら、曲の表現内容について理解する。			○	○
	7	音楽のよさや美しさを深く味わい、文化や芸術としての意味や価値を探ろう ○ショパンの生涯と作品をたどろう	曲や演奏に対する評価とその根拠、文化や芸術としての音楽の意味や価値について考えを述べ合う。			○	○
2 学 期	8・9	表現を工夫して弾き歌いをしよう。 ○チューリップ ○うみ ○どんぐりころころ	これまで習得してきた鍵盤楽器に関する技能を高めたり応用したりしながら、自分の表現意図を弾き歌いで表すことのできる技能を身に付ける。			○	○
	10	世界の諸民族の音楽を体験しよう ○世界の諸民族の音楽	世界の祭りで演奏される音楽について調べたり、演奏したりして、曲の表現内容及び曲や演奏することと生活や社会との関わりについて考えを述べ合い、理解する。			○	○
	11	オスティナートをを用いた曲づくりをしよう ○オスティナートをを用いてピアノ曲をつくらう	ピアノの音色を生かしながら、オスティナートをを用いて低声部をつくり、それに旋律を付けて作品をつくる。			○	○
	12	曲の内容を理解してミュージカルナンバーを歌おう ○鑑賞《レ・ミゼラブル》 ○夢やぶれて ○民衆の歌	ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。			○	○
3 学 期	1	3年間のまとめのコンサートを開こう	様々な表現形態による歌や器楽曲の中から、個人またはグループで選曲し、演奏発表する。 演奏したり、演奏を聴き合ったり、感想を述べ合ったりしながら、音楽を通して自己の心情を表現すること、感情を伝えあったり共有し合ったりすることなどを体験し、その素晴らしさを実感する。			○	○
	2						
	3						
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。 ・ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。 ・表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心掛ける。 					